

2012年度協定校留学近況報告書

記 入 日	2012年 11月 7日
留 学 先 大 学	メンフィス大学
留学先での所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): , (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2012年8月－2013年5月
明治大学での所属	国際日本学部国際日本学科__専攻 / __研究科__専攻
学年(出発時本学での学年)	学部2年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

メンフィス大学への派遣は今年が初めてでしたので、インターネットやガイドブックなどで調べはしたものの、集まる情報は少なく、メンフィスという場所がどのような場所なのか、到着するまで見当もつきませんでした。そのため、出発前まではとても不安でしたが、到着してから特に問題はありませんでした。田舎とはいえ、一通りものは揃う(安く)のであまり心配する必要はないと思います。一方、大学に関する情報についてはしっかりと把握しておくことを強くお勧めします。協定校留学が決定すると、各大学からメールなどで連絡がたくさん来ると思いますが、英語なので理解したり適切な手続きを済ませるのに時間がかかり大変でしたが、これらの情報や手続きはとても大切なものばかりですので、時間をかけてでもしっかりと対処してください。私の場合は授業登録が到着してからしかできなかったこともあり、授業について調べたものの、人数制限で希望の授業がまったく取れないという事態に陥りそうになったりとトラブルもありました。予期せぬトラブルに迅速に対応するためにも、大学の履修システムや授業、手続きについてはよく知っておく必要があります。手続きや支払いの期限は絶対です。もし期限を守れなかった場合、余分なお金を払わなくてはならなくなることもあります。私は寮費が足りていないのに気付かず期日が過ぎてしまい、\$40 チャージされてしまいました。

II - 1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: J1	申請先: アメリカ大使館 東京
ビザ取得所要日数: 3週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: \$180(ビザ) + \$180 (SEVIS)
ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン申請書 DS-160 フォーム ・米国での滞在予定期間に加えて 6 か月以上の残存有効期間があるパスポート ・2 インチ x 2 インチ(5 cm x 5 cm)の写真 1 枚 ・180 米ドルの非移民ビザ申請料金を自国通貨で支払済であることを示す領収書 ・プログラム主催者発行の DS-2019 許可書 ・米国政府が支援する交流訪問者プログラム(プログラムコードが G で始まる)以外へ参加の場合、SEVIS 費用を支払済であることを示す I-901 SEVIS 費確認書を提出 ・面接を予約されたことを確認する面接予約確認書 	
具体的な申し込み手順を教えてください。	
<ol style="list-style-type: none"> 1. SEVIS の申込みをします 2. SEVIS のお金を支払います 3. オンライン申請書の DS-160 を記入してオンライン提出します 	

4. ビザのお金を払います
5. 面接の予約をします
6. 必要書類を持ってアメリカ大使館に面接をしに行きます
7. 3~4 週間でビザが郵送されてきます

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

留学先大学で何を勉強するのか。だけだったと思います。面接は意外とあっさりと終わりました。

ビザ取得に関して困った点・注意点

オンライン申請書 DS-160 には記入するのに必要な情報がたくさんあります。分からない部分だけ飛ばして入力することができないので、手元に情報がそろった状態で申請することをおすすめします。私の場合、DS2019の情報が間違っていたので、留学先の大学に連絡を取って、再度発行し直さなくてはならず、申請が遅れてしまったりしました。ビザの申請はとにかくややこしく、必要な書類や情報が足りないことに後から気が付く場合もあるので、早めに準備に取り掛かることをおすすめします。

Ⅱ-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

【お金に関して】

現金は\$1,000、現地で現金を引き落とすために国際キャッシュカード、クレジットカード2枚

【携帯電話】

海外版ドコモを日本で購入しました。現地に到着したらSIMカードをセットして使用開始。日本から持っていったのは安心でしたが、現地でも手軽に手に入ります。

【荷物】

日本から箱を送ってもらうにはかなりのお金がかかります。私の場合、中くらいの大きさの箱を送ってもらうのに空輸便で15,000円かかりました。また心配すぎて、たくさんの荷物を持っていったため、飛行機に乗る際、重量オーバーで6,000円の超過料金がかかりました。長期なのである程度のもは必要ですが、現地で購入できそうなものは日本においていくことをおすすめします。洋服などは、古着屋さんはかなり充実しているので、そこで安くていいものを購入するのも一つの手だと思います。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	JAL
---------------	-----

航空券手配方法	JAL に直接手配。留学後そのまま旅をする計画を立てていたため、世界一周航空券を購入し、旅程に留学先を組み込み、その航空券を使って渡航しました。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。
----------------	---

大学最寄空港名	メンフィス空港	現地到着時刻	13:30
----------------	---------	---------------	-------

キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
--------------------	--	---------------------------------	---	-------------------------------	------------------------------

移動の所要時間	20 分
----------------	------

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

大学到着日	08 月 22 日 14 時頃
--------------	-----------------

2.住居について	
到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(4人部屋)
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現地のアメリカ人学生)
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	留学生は原則として皆、Carpenter Complex という寮に入ります。そのため、手続きは大学側の案内に従いました。留学が決まると届く書類の中に寮の申込み用紙があるので、それに記入した後、提出します。
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？	
3.留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	オリエンテーション 10:00am~14:15pm ショッピング 15:00^
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容の様子は？	
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	08月27日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	
必要ありません。	
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	
到着した日(8月22日)に TB Test(結核の検査)のためキャンパス内の Health Center で注射を打ちました。料金は\$20で、結果は2日後の24日に出了ました。小学生の時に受けているツベルクリンが原因で検査に引っかかってしまったので、さらに\$20支払って、X-ray(レントゲン)検査を受けました。この結果はだいたい2週間ほどで出ます。	
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
もともと現地で口座を開く予定はありませんでしたが、日本語チューターのアルバイトをすることになり、お給料をいただくため、こちらで「FIRST SOUTH」というキャンパス内にある銀行(テネシー州のみの小規模な銀行)の口座を開くことになりました。手続きは簡単で、パスポートと学生証、それとこちらで住所を持っていれば、あとは必要事項を記入し、カードが郵送されるのを待つのみです。開設の際にかかる料金は\$10です。キャンパス内でその口座からお金を引き落とす場合は手数料はかかりません。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
購入していません。	

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

「My Memphis」という「Oh!Meiji」と同じようなポータルサイトで登録します。TB Test を受けないと履修登録ができなかったため、履修登録締め切り間際まで授業登録ができなかったため、希望していた授業のほとんどがすでに埋まってしまっていました。それでも、レベッカさん(国際交流課のディレクター)のアドバイスを受けながら、履修登録を済ませました。授業開始日から一週間はお試し期間なので、授業をドロップしたり登録したり自由に変更することができます。その期間に「My Memphis」を頻繁にチェックし、誰かがドロップして空きが出るのを待ち、結果として納得のいく授業登録ができました。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

2. 履修単位数

一学期の登録単位数・科目数を教えてください。

5科目14単位

多すぎた ちょうど良い 少なすぎた

留学先大学の学生は週平均何科目とるのが一般的ですか？ 4科目/週(12時間)ぐらい

3. 授業内容

現在までに受講している授業はどのように授業が進められていますか？(予復習、テスト準備など、アドバイスもご記入下さい。)(下記授業の履修時期:2012年08月から2012年12月)

No.	コース名/教授名	時間数/週	留学先での単位数
1	SPAN 1010 002 Elementary Spanish I/Prof.Skupin	55分授業が週3回	3

大学1年の時1年間、スペイン語を取っていたものの、気嫌いしてしまったため、リベンジとして履修することにしました。先生の教え方もテキストも良質だったため、今はスペイン語の学習を楽しめるようになりました。週3回もスペイン語に触れることができるので、習得しやすく感じています。課題は毎回、ルーズリーフに習った単語や文法を使って5文書き提出するものと、月に一度の締切日までにこなすオンライン提出のもの2つがあります。試験は4つの Quiz と Final です。テキストがオンライン学習システムとリンクしているため、いつでもスペイン語の正しい音声を聞きながら復習でき、自分でいくらでも活用することができます。

2	AAAS 2100 002 Introduction to African and African American Studies	55分授業が週3回	3
---	--	-----------	---

本当は取るつもりがなかった授業だったのですが、希望の授業が取れなく、もう一人明治から派遣された学生がこの授業を取るということだったので履修登録しました。私たち日本人2人以外は皆、黒人の学生だけで、現地の友達からも「なぜ？」とよく聞かれますし、最初はほとんど興味を持てなかったのですが、教授が生徒の興味を引き出すようなとても良い授業をする方で、だんだん授業に面白さを見出しました。Reflectionは2週間に1回、テストがあるときでも例外なく出さなくてはなりませんでしたが、記述問題のみの Mid-term と Final Exam 以外に、African American について書かれたペーパーバック2冊に関する試験も記述で行われるという、他のどの授業よりもハードな授業でした。しかし、授業後分からないことを聞きに行けば先生は丁寧に教えてくれますし、留学生の私たちが配慮してくれていたと思います。朝8時からという早朝の授業だったため人数は15人程でしたが、毎回たくさんの発言がありました。また、私は英語の授業を特に取っていませんでした。レポートを書きいい訓練にもなったと思います。

3	MGMT 1010 001 Introduction to Business/Prof.Yancey	55 分授業が週3回	3
この授業は他の授業と比べると退屈に感じてしまいます。先生の話すことがほとんど教科書と同じで独自性がないからです。それでも、Fedex からゲストが来てお話を聞くという良い機会がありました。試験は4つの Quiz と Final ですが、毎度さほど難しいとは感じません。テキストを読まなくても、用語だけチェックしておけばテストは簡単です。			
4	ANTH 1200 008 Introduction to Cultural Anthropology/Charles Williams, Ph.D.	85 分授業が週3回	3
学生の人数は30人程度。生徒から人気のある教授で毎回の講義は飽きることがありません。試験は4択の Quize が4回と、記述と4択の Final Exam の他、クラスの Quiz の成績があまり振るわなかった場合に再度 Quiz が課されます。試験前には Study Guide を用意してくれるので、それをもとに勉強すればある程度点数は取れるようになっています。			
5	DANC 1827 001 Jazz Dance I/Prof. Wayne M. Smith	85 分授業が週3回	2
生徒数は30人。もともとジャズダンスサークルに入っており、続けたいと思い、受講しました。こっちの学生はリズム感があり、皆上手なので、ついていくのが大変ですが、楽しんで受講しています。Mid-termと Final Exam は実技です。ここではダンスの上手さを見られるのではなく、授業で習ったことを注意しながら踊れているかが見られます。他に課題として、先生がリストアップしたパフォーマンスの中から2つ選んで見に行き、そのうちの1つについてレポートを書く必要があります。			

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。							
	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床		起床		起床		
8:00	AfricanAmerican Studies (8:00~8:55)	起床	AfricanAmerican Studies (8:00~8:55)	起床	AfricanAmerican Studies (8:00~8:55)		
9:00	Elemently Spanish (9:10~10:05)		Elemently Spanish (9:10~10:05)		Elemently Spanish (9:10~10:05)	起床	起床
10:00	Intro Bussiness (10:20~11:15)	日本語のチューター	Intro Bussiness (10:20~11:15)	日本語のチューター	メールなどの事務処理	掃除	自由時間
11:00	昼食	Cultural Anthropology (11:20~12:45)	昼食	Cultural Anthropology (11:20~12:45)	勉強	洗濯	自由時間
12:00	メールなどの事務処理	Cultural Anthropology (11:20~12:45)	メールなどの事務処理	Cultural Anthropology (11:20~12:45)	昼食	昼食	昼食
13:00	日本語のボランティア	昼食	勉強	昼食	Meeting of Japanese Cultural Cub	勉強	自由時間
14:00	勉強	友達とおしゃべり Jazz Dance (14:40~16:05)	勉強	友達とおしゃべり Jazz Dance (14:40~16:05)	Meeting of Japanese Cultural Cub	勉強	自由時間
15:00	勉強	Jazz Dance (14:40~16:05)	日本舞踊の練習	Jazz Dance (14:40~16:05)	勉強	勉強	自由時間
16:00	勉強	Jazz Dance (14:40~16:05)	Meeting of Asian American Association	Jazz Dance (14:40~16:05)	勉強	勉強	自由時間
17:00	勉強	勉強	Meeting of Asian American Association	勉強	勉強	勉強	自由時間
18:00	勉強	勉強	勉強	勉強	自由時間	勉強	自由時間
19:00	勉強	ヨガ	勉強	勉強	自由時間	自由時間	自由時間
20:00	夕食	夕食	夕食	夕食	自由時間	自由時間	自由時間
21:00	勉強	勉強	勉強	勉強	自由時間	自由時間	勉強
22:00	勉強	勉強	勉強	勉強	自由時間	自由時間	勉強
23:00	自由時間	勉強	勉強	勉強	自由時間	自由時間	勉強
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

【メンフィス大学について】

キャンパスがとにかく広大で最初はとても驚きました。寮がキャンパス内にあるのに授業の教室まで20分くらい歩かなくてはならない場合もあります。最初のころは場所も分からず地図を持ちながら歩き回って疲れていましたが、今はそんなことにも慣れ、素敵なキャンパスを歩くのを楽しんでいます。キャンパス内にはリスがたくさんいます。そのくらい長閑です。ベンチもたくさん設置されているのでお天気の良い日などは外で勉強したり本を読んだりしています。

【プログラムについて】

メンフィス大学は日本人というよりもアジア人自体がとても少ないです。それは私にとって、英語を身に着けるという点においてとても良い環境です。明治大学の他にも日本の大学から派遣されてくる学生は結構いますが、皆 IEI という英語の勉強だけをするプログラムに参加しているので、授業が始まってしまえば関わることはあまりありません。今はそのメリットを最大限に生かしていますが、最初はまったく初めての環境のなか、IEI の学生とは違い、現地の学生と同じように手続きも授業に関することも何もかも自分で理解し、取り組まなくてはならず、さらに授業を通して友達もできず、ルームメイトとも仲良くなれずに、ごはんは基本一人で食べるという孤独な生活が1週間程続きかなりストレスがたまりました。留学生だからといって何も言わなければ、先生も特別に気にかけてくれないし、いろんな人種が入り混じっているアメリカでは日本人だからといって人目を引くわけでもないので、自分から行動を起こさなければ、友達もできないままだということに気づき、積極的に色々な交流の場に顔をだし、先生にも授業後に質問にしに行くようにしました。そんな努力をしたら、あつと言う間に友達がたくさん増えましたし、授業の要領も幾分かわかるようになりました。このプログラムは自分でほとんどのことをこなさなくてはならなくて大変な部分も多い分、何にも縛られることなく留学生生活を自分のテイストに合うようにカスタマイズすることができる最高のプログラムだと思います。

【授業】

初めの頃に比べれば耳は慣れましたが、それでもノート取りながら講義を聞くというのは至難の業です。テキストも予習、復習として本当は読みこなさなくてはならないのですが、試験勉強や課題があると、それもなかなかうまくこなせないのが現状です。最初は、そんな焦りで泣きそうにもなりましたが、今は自分の最大限の努力でこなせることを一生懸命やることに決め、変に焦ることはなくなりました。それでも「留学生だから」という言い訳は決して使わないようにしています。どうやっても現地の学生との差は愕然としてるため、周りと比べるのではなく、自分のできることをこなしてレベルアップを図ることに専念しています。また、講義や試験のことなど何か不安なことがあれば、必ず教授のオフィスアワーを利用して相談することが大切です。最初から留学生だから配慮してくれるだろうと思うかもしれませんが、ここでは私たちから何か持ちかけなければ教授たちの方から目をかけてくれることはないと思った方がよいです。その代り、一度相談しに行けばとても親切に対応してくれる教師陣がたくさんいます。

【寮】

4人共同で生活していますが、各々部屋があるため、ほとんど一人暮らしに近い感覚です。各々の部屋には勉強机、ダンス、ベッド、クローゼットがあらかじめ備わっています。お風呂、トイレ、洗面は2つずつあり、2人で1つを共有します。キッチン、ダイニング、リビングは4人で共有です。全体的に広く、比較的きれいな寮だと思います。ちなみにルームメイトとは今も仲良くはありません。他のひとの話を聞いても、異国間でも留学生同士は仲良くなりやすいようですが、現地の学生とはなかなか仲良くなるのは難しいようです。会ったら軽く挨拶を交わす程度です。最初は、それが思い描いていた寮生活とはまったく違っていたのでショックでしたが、今はプライベートな空間として楽しんでいます。

いくらあまり話をしないからと言っても、同じ屋根の下で暮らしていればトラブルも発生します。まず冷房の温度の調節。夏の間、こっちの室内はたいい異常な程冷房がガンガンきいています。そんな環境で育ってきた彼らにとっての快適な温度とは、私にとって極寒の温度であり、温度を上げに行きます。そうすると3人のうち誰かが熱いと感じ、下げにきます。そうすると3対1で当然私が負け、私がい慢せざるを負えませんでした。そして次に、食器のトラブル。私のマグカップやカトラリーが勝手に使われ流し台に放置されていたり、ナイフがたまになくなったりします。もちろん共同生活なのである程度我慢しますが、我慢しきれないときは付箋に書いて張っておけば、解決することがほとんどです。

【生活全般】

基本的には平日は勉強、週末は遊びという考えで生活しています。こちらの学生は勉強もしますが、遊ぶときは思いっきり遊ぶので、そのメリハリがとても好きです。

平日はたいい勉強に追われますが、キャンパスには色々な場所があり、カフェ、ラウンジ、図書館など、様々な場所で勉強できるので、自然と集中力も高まります。勉強に煮詰まったときや、少し時間に余裕があるときなどは、レクセンターというジムに体を動かしに行きます。学生なのですべて無料ですが、会費を取ってもいいくらい充実した大きな施設で、普通のジム以外にもテニス、卓球、スカッシュ、ゴルフ、バスケ、プール、ジャグジー、サウナなどがあり、ありとあらゆることができます。ヨガ、ピラティス、ズンバのレッスンも無料で受けられるため、私は週に1回ヨガのレッスンに通ってリラックスしています。また、定期的に学生による演劇であったり、ジャズのコンサートなどが Music Building のホールで開催されます。文化に触れるいい機会なのでたまに足を運びますが、学生のパフォーマンスとは思えない程完成度が高く、驚かせられます。学生はもちろん無料です。

今の生活は大分落ち着きましたが、最初は勉強時間を少し削っても色々なイベントに参加して現地の友達を作ることも大切だと思います。私は、JCC(Japanese Cultural Club)や AAA(Asian American Association)に入り、友達の輪を広げました。また、VISA という留学生向けの団体の催すイベントにも定期的に参加しています。アメリカに来て日本のことを学ぶのは少し変ですが、3月の大きな Japanese Festival に向けて、週に一度日本舞踊の練習もしているところです。とにかく、現地の仲のよい友達を作ると行動範囲がうんと広がり、会話が上達する上に留学生活が2倍にも3倍にも楽しくなることは間違いありません。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

私は、留学する前までは漠然と「国際的」に関わられるような仕事をしたいと頭に思い描いていただけで、自分が将来何をしたいのか全く分かりませんでした。そのため、長期留学には高校の時から行きたいと思い続けていたものの、TOEFL の点数を獲得し、志願理由書を書く段になって、留学する意味が自分の中に見いだせなくなり、しまいには留学行くか行かないか自体を迷いました。それでも、留学や海外生活の経験のある友人の言葉に後押しされ、留学を決意することにしました。留学から3か月経った今、私の夢は留学前のようなあいまいなものではもうなくなり、大分具体性を帯びてきています。たった3ヶ月で、日本で漠然と将来に不安を抱いていたときには決して味わえなかった変化を感じています。留学の意義は決して英語学習だけではありません。この経験は自分が思っていたよりもはるかに大きく自分の思考に大きな変化を与えているようです。ですから、もし今なにかしら将来に不安を抱いていたり、やること決まっていけど留学してみたいと少しでも思っているのならば、ぜひ一歩を踏み出してみてください。メンフィス大学は私たちが初めての派遣ですので、できるアドバイスは少ないかもしれませんが、前例が少なすぎるので不安にもなるかもしれませんが、学習環境の整ったいい大学だと思います。留学前は誰でも不安になると思います。何か質問がありましたら、国際教育事務室の職員の方にとってお気軽ご連絡ください。